

平成29年10月18日

東村高江米軍ヘリ炎上事故に伴う環境調査結果について（第3報）

～内周規制線近傍等の放射線の確認について～

沖縄県環境部環境保全課

1. 目的

東村高江地区内で発生した CH-53E 大型輸送ヘリコプターの炎上事故現場近傍等の土壌試料採取地点における放射線計数率（cpm）を確認するため、沖縄防衛局と協力し、可搬型測定器を用いて調査を行った。

2. 試料採取及び調査実施日

10月13日

3. 試料採取地点（地図は別紙参照）

- (1)内周規制線沿いにおける3地点の土壌採取
 - (2)内周規制線付近のため池1地点において採水
 - (3)事故現場近隣の牧草地において土壌採取
 - (4)比較対照として、国頭村安田にある家畜改良センターにおいて土壌採取
- ※試料採取は、土地所有者の許可を得て行った。

4. 調査項目

(1)土壌試料

- 有害物質調査
 - ・土壌汚染対策法に基づく特定有害物質 26 項目※
- 放射能調査
 - ・GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータ（TGS-146）による放射線の計数率（cpm）を測定
 - ・ストロンチウム90分析※

(2)ため池の水試料

- 環境基本法に基づく環境基準 健康項目 27 項目・油分※

※GM計数管式表面汚染測定用サーベイメータによる表面汚染の調査結果以外の調査結果は、測定次第随時掲載します。

5. 調査方法

検出器の窓を地面から 5 cm 程度離し、放射線の計数率（cpm）の最大値を測定

6. 調査結果

内周規制線沿い及び事故現場近隣牧草地の土壌試料採取地点における放射線計数率（cpm）を確認したが、表のとおり、対照である国頭村安田の家畜改良センターと比較して差はなく、いずれも異常な値は検出されなかった。

なお、この測定結果について、放射線地学の専門家である琉球大学古川雅英教授からは「通常の自然界のレベルで問題はない」とのコメントを頂いている。

表. 土壌採取地点の放射線計数率 (cpm)

時定数:3秒		
土壌採取地点	採取場所の状態	計数率(cpm)
①内周規制線沿い左側	牧草地	216
②内周規制線沿い中央	牧草地	197
③内周規制線沿い右側	牧草地	208
④事故現場近隣牧草地	牧草地	207
⑤家畜改良センター(比較対照)	牧草地	169

備考1) 調査地点ごとに複数測定し、その最大値を記載した。

備考2) 上記の数値は、測定器がもつバックグラウンド値を含めた値。



図1. 事故現場付近拡大図（試料採取地点）

<参考>

○沖縄防衛局の測定では図1①、②、③地点の地上1mの空間線量は $0.05 \mu\text{Sv/h}$

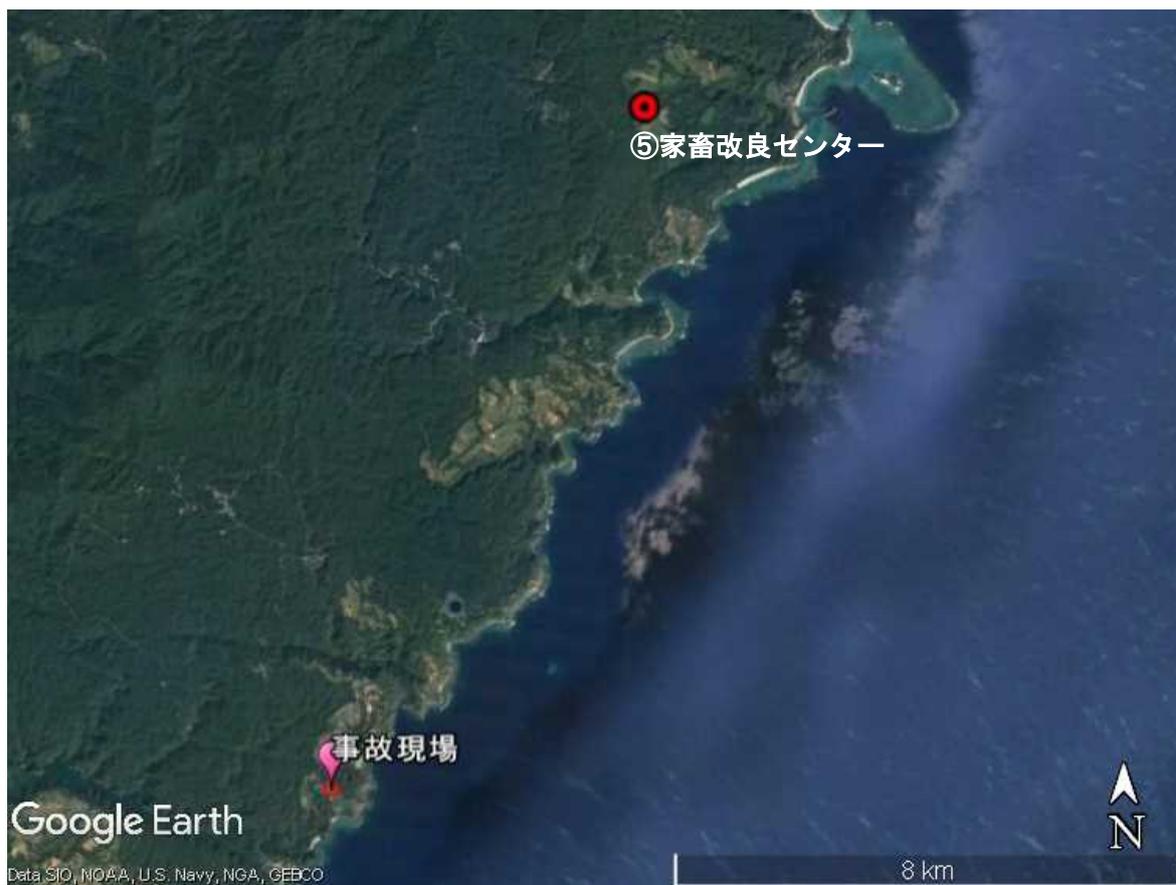


図2. 事故現場と比較対象地点である家畜改良センターとの位置関係